

授業科目	老年心理学特論		担当教員	長野 恵子	
展開方法	講義・演習	単位数	2単位 選択	開設時期	前期
【授業目標】					
<p>高齢期の心理的特性および心理アセスメント、心理療法について学ぶことを本講の狙いとする。</p> <p>高齢期は心身の機能低下、社会的役割や人間関係の喪失など種々のものを失っていく過程と考えられてきた。しかし、自己実現を目指す存在として生涯発達の視点で見れば、高齢者は様々な変化を受け入れながら、その状況に適応していくための発達過程を歩んでいるものと捉えられる。本講では、高齢者に対する心理的理解を深めつつ、自らの老年観を吟味するとともに、臨床心理士として必要な高齢者に対する心理療法の在り方を学ぶ。</p>					
【授業方法】					
講義ならびに教科書、文献検索した資料を用い各自の分担箇所を発表し、討論する。					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の生涯発達の理解 2. 高齢期の心理的特性の理解 3. 認知症の人への理解と援助の視座 4. 高齢者に対する心理アセスメントのありかた 5. 高齢者に対する心理テスト 6. 高齢者に対する心理療法のあり方（基本的姿勢） 7. 高齢者に対する心理療法のあり方（カウンセリング） 8. 高齢者に対する心理療法のあり方（回想法） 9. 高齢者に対する心理療法のあり方（回想法） 10. 高齢者に対する非言語的アプローチ（芸術療法） 11. 高齢者に対する非言語的アプローチ（動作療法） 12. 高齢者への心理療法の事例講読 13. 高齢者への心理療法の事例講読 14. 高齢者ケアに関わる専門職への心理的支援 15. 総合討議 					
【評価方法】					
ディスカッションへの積極的参加度、レポート内容を総合的に評価する。					
【教科書・参考書】					
<p>教科書 黒川由紀子・斎藤正彦・松田修著 「老年臨床心理学」 有斐閣</p> <p>参考書 講義の中で適宜紹介する。</p>					
【学生に期待すること】					
<p>学部において臨床心理学を専攻したものと同等以上の知識・技能を持つ学生を対象とする。</p> <p>発表担当以外の学生も、予め授業範囲の教科書を読み、指定する文献を調べた上で授業に臨み、討論に積極的に参加すること。授業中に十分に読みこなせなかった事例研究等の関連文献は、復習として読み、理解できない点は次回の講義で質問すること。</p>					